

# **N P Oが抱える課題と 解決策について**

# 目次

**1**

**NPOとは**

**2**

**NPOが抱える課題と県の実施状況**

**3**

**課題解決に向けた方策案**



# 1

N P O とは

- 「Non-Profit Organization」の略称で、  
様々な社会貢献活動を行い、団体の構成員に対し、  
収益を分配することを目的としない団体の総称
- NPOは法人格の有無を問わず、  
様々な分野（福祉、教育・文化、環境、まちづくり、国際協力など）で、  
社会のニーズに応える重要な役割を果たしている

# 2

## N P Oが抱える課題と 県の取組状況

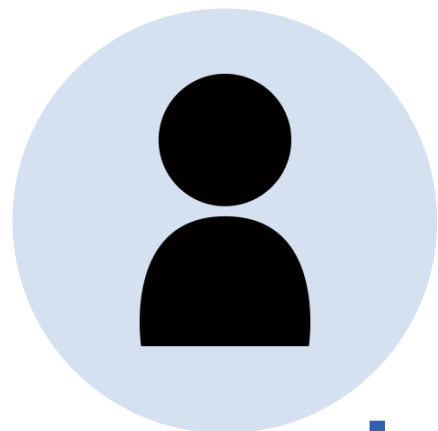
# これまでの審議会で、NPOが抱える課題として 「人材・財源・ガバナンス」について議論



課題	課題の主な内容	議論を踏まえた県の取組
人材	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 人材不足</li><li>・ 人材育成</li><li>・ ボランティアをしたい人と団体のマッチング</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ NPOの組織マネジメント向上や運営基盤強化を図るための研修（スキルアップ、効率化、後継者育成等）</li><li>・ 若者にNPOの活動を知ってもらうためのインターンシップ</li></ul>
財源	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 運営基盤が不安定な団体が多い</li><li>・ 運営基盤強化のための資金不足</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ NPOの組織マネジメント向上や運営基盤強化を図るための研修（寄附獲得、クラウドファンディング等）</li><li>・ NPO活動に対する補助<ul style="list-style-type: none"><li>・ 復興支援及び被災者支援の取組</li><li>・ 地域課題を解決するための取組</li></ul></li></ul>
ガバナンス	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 労務・会計システムの整備</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ NPOの組織マネジメント向上や運営基盤強化を図るための研修（組織運営、経営改善等）</li></ul>

依然として「人材・財源」は特に課題※

※NPO活動交流センターアンケート結果より



- ・スタッフ確保
- ・スキルアップ

人材



- ・寄附獲得
- ・経費削減（効率化）

財源

- ・ 人材の課題解決のためにも財源が必要
- ・ NPOを対象とする国の復興支援及び被災者支援事業が令和7年度で終了



**「財源」は今後ますます大きな課題に…**

3

**課題解決に向けた  
方策案**



## 御意見を頂きたい内容

資金を得たい側からの視点

① **資金・寄附獲得のために有効な方策**

協力する側からの視点

② **どんな方策があればNPOに  
協力（寄附・ボランティア）しやすいか**

資金・寄附獲得のために

主体	方策案
N P O	<div>① 協力（寄附・ボランティア）を得るためのP R等</div> <div>② 民間（公益財団法人）・国等の助成金活用、県等からの委託事業</div> <div>③ 認定N P O法人の認定取得</div> <div>④ 休眠預金等活用制度による助成金活用</div> <div>⑤ 事業活動による資金調達</div>
県・市町村	<div>① 協力・連携につなげるため、住民・企業等に対してN P OをP R</div> <div>② 資金・寄附獲得、効率化のための研修強化</div> <div>③ 認定N P O法人の認定取得支援</div> <div>④ 寄附文化の醸成と受け皿整備</div>

## 協力（寄附・ボランティア）を得るためのP R等

協力を得るためには、**存在意義を示し、共感や信頼を得ることや、協力しやすい機会や選択肢づくりなどが必要**であることから、  
以下のようなP R等が特に重要

- **ブランディング**  
(ウェブサイト、ブログ、SNS等)
- **クラウドファンディング**
- **資金管理や資金集めのルール整理**  
など

# 協力（寄附・ボランティア）を得るためのPR等

【ブランディングの例】

## 認定NPO法人もりねこ（盛岡市）



ウェブサイト



ウェブサイト



YouTube

## 協力（寄附・ボランティア）を得るためのPR等

### ○ 支援を検討する人が知りたいことが明確

（ビジョン、解決したい社会課題、活動内容、ストーリー、求めている支援内容など）

### ○ ブログやSNS等による発信（見つけてもらえる）

### ○ 様々な寄附方法

### ○ デザインの統一（イメージ作り）

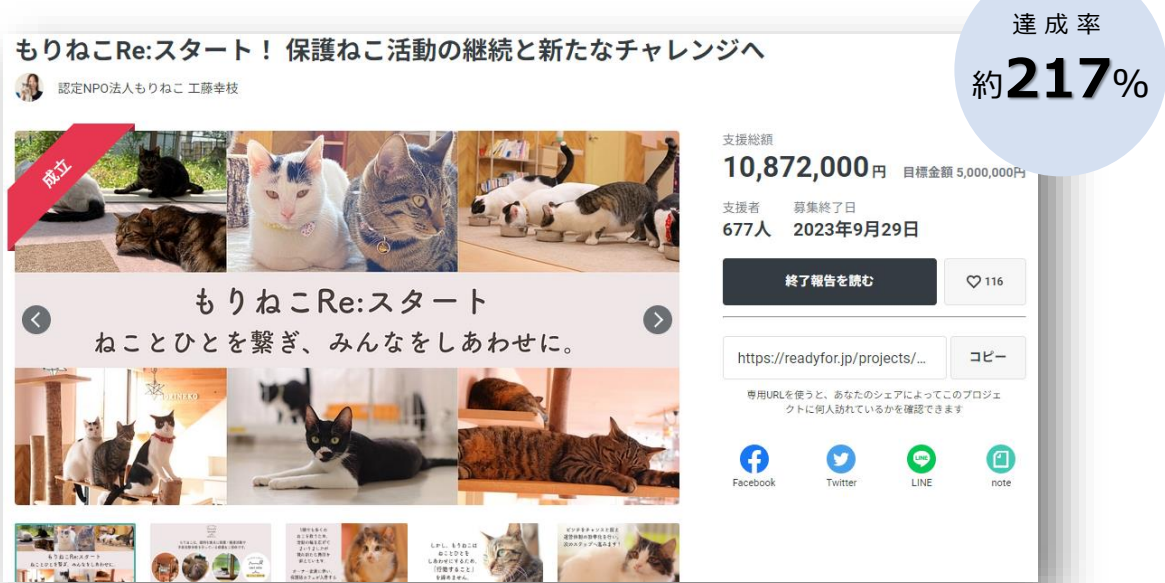
など

協力（寄附・ボランティア）を得るためのPR等

【クラウドファンディングによる資金調達の例】

認定NPO法人もりねこ（盛岡市）

- 「保護ねこカフェのリニューアル」を行うために実施
- 目標金額**500万円**に対し、  
677名から約**1,087万円**の支援を集めることに成功



認定NPO法人桜ライン311（陸前高田市）

- 「震災の教訓を未来に伝える看板を設置」するために実施
- 目標金額**310万円**に対し、  
273人から約**368万円**の支援を集めることに成功





# 民間（公益財団法人）・国等の助成金活用、県等からの委託事業

子ども支援、障がい者支援、環境保護、文化財保護など

岩手県NPO活動交流センターウェブサイト



### 助成金情報



[過去の助成金情報](#)

2024/12/26

助成金・補助金

【助成金】令和6年度WAM助成(補正予算事業)物価高騰の影響下における生活困窮者やひきこもり状態にある者等の支援に係る民間団体活動助成事業(福祉医療機構)

2024/12/25

助成金・補助金

【助成金】2025年度 北欧諸国と日本間の学術研究、人的交流等助成(スカンジナビア・ニッポン ササカワ財団)

2024/12/25

助成金・補助金

【助成金】私たちがつくる交通安全～ユース活動助成金制度～(国際交通安全学会)

2024/12/25

助成金・補助金

【助成金】第9回 赤松・コルティ・ジェンダー平等基金(国際女性の地位協会)

2024/12/25

助成金・補助金

【助成金】2025年度 公募助成金(三菱UFJ国際財団)

2024/12/25

助成金・補助金

【助成金】ユースアクション東北(助成金プログラム)(子ども未来支援財団)

2024/12/25

助成金・補助金

【助成金】「こどものみらい基金」(サウンドハウスこどものみらい財団)



### 【助成金】「こどものみらい基金」(サウンドハウスこどものみらい財団)

助成金・補助金2024/12/25

こどもたちのために献身的な活動を行っている全国各地の団体を支援することにより、未来あるこどもたちが心豊かに成長し、安心して過ごせる優しい社会を、みんなの手で創りあげていくことが、わたしたちの願いです。本財団の働きをとおり、ひとりでも多くの笑顔を増やすことができれば幸いです。

**【内容】**

「苦しんでいるこどもたちの生活を援助する取り組み」を支援します。

**【支援事業】**

- 1.こどもの命を守る事業の運営に関わり、心と体を癒す居場所づくりに寄与する事業
- 2.児童虐待を予防するため、被虐待児の経験をもつ人たちの心のケアに取り組む事業
- 3.孤独を抱える女性が安心して出産、子育てができる優しい社会づくりを実現するための取り組み

**【助成金額】**

月額5万円～20万円を半年単位で前払い支給(30万円～120万円)

## 認定NPO法人の認定取得

○ NPO法人への寄附を促すことにより、NPO法人の活動を支援するための制度

○ 所轄庁に申請 ▶ 基準を満たせば認定（現在県内で23法人）

- ・ 運営組織及び経理が適切であること
- ・ 事業活動の内容が適切であること など

○ メリット 税制上の優遇措置 など

認定NPO法人に	個人が寄附した場合	▶ 寄附金控除（所得控除）
	法人が寄附した場合	▶ 一定の範囲内で損金算入



# 休眠預金活用制度による助成金活用

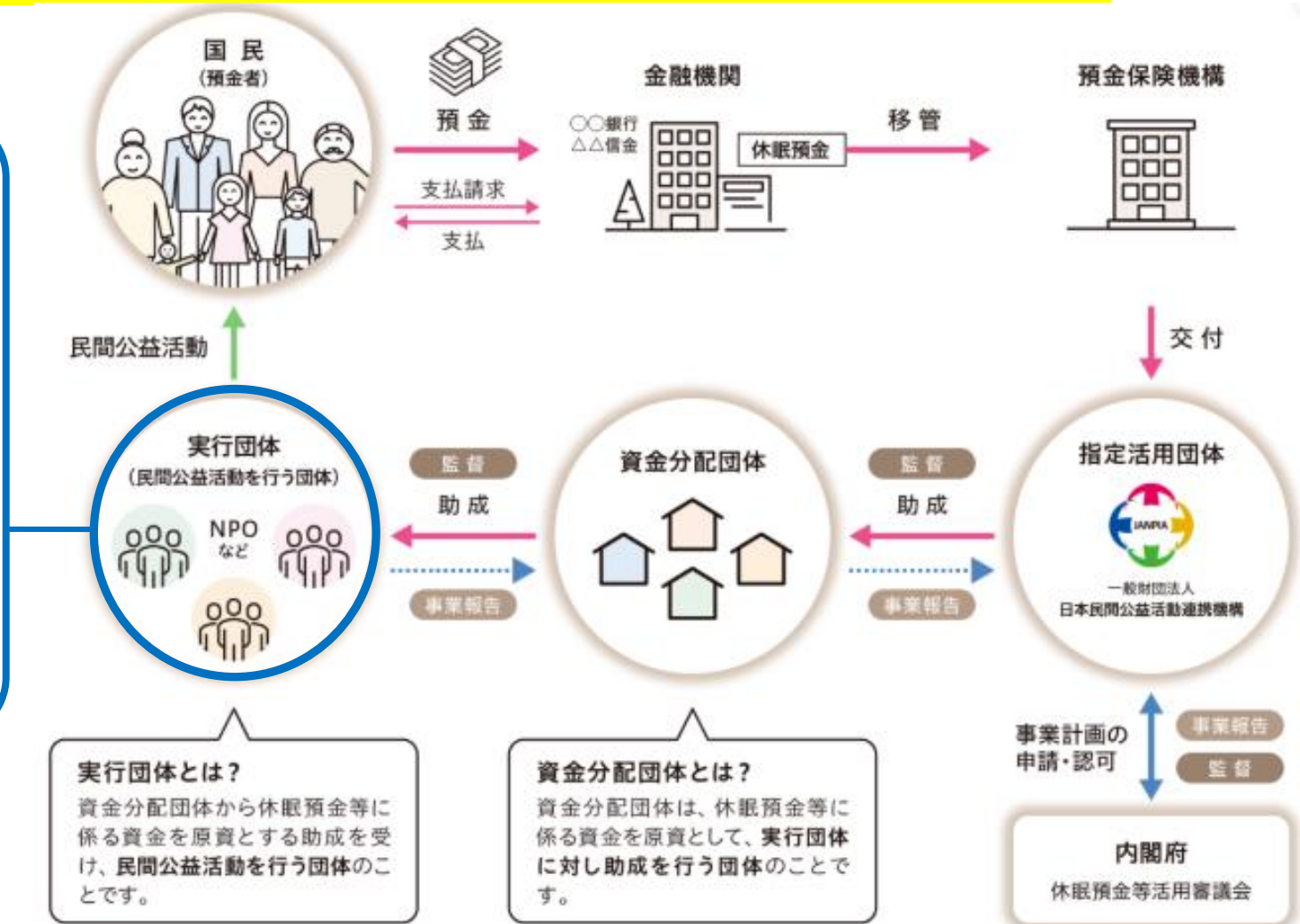
10年間出し入れのない預金を、  
社会課題解決のための**公益活動を行うNPO**などの事業資金として**助成**する制度

【実行団体の例】

いわて連携復興センター（北上市、R1～）

活動内容

- 自然災害に対応するため、行政・NPO・社会福祉協議会の連携確立
- 支援現場における専門的な知識をもつ人材の育成、ボランティア活動人材の創出



## 事業活動による資金調達

【例】

### 認定NPO法人 遠野山・里・暮らしネットワーク（遠野市）

#### ○ 法人の目的

「資源を生かした都市住民との交流の深化と移住の促進」

「伝統文化・芸能・技術・技芸の伝承と進化と応用」

「里地・里山における循環的な生活スタイルの再興と実践」を柱に事業を行い、社会全体の利益の増進に寄与する

#### ○ 事業収益額（令和5年度）

約2千万円

#### ○ 事業収益の主な内訳

・遠野ドライビングスクール連携事業 約200万円

グリーン・ツーリズム型自動車合宿免許教習

（乗馬体験、そばうち、染め物など）

・遠野民泊協会運営事業 約160万円

体験・体験型の教育旅行受け入れ

（農作業、牛の世話、わら細工、ホタル観賞など）







# 住民・企業等に対してNPOをPR

## 市民活動団体ガイドブック（花巻市）

- 目的
- 団体と市民をつなぐ

- 内容
- 各団体の活動内容
  - 協力募集・連携希望の有無  
(会員・スタッフ募集や企業・自治体との連携希望)  
など

- 周知方法
- 市ウェブサイト・広報掲載
  - 公共施設、商業施設等で配布





# 住民・企業等に対してNPOをPR

## 北上市

### まちづくりマッチングフェア

- 令和5年度開始（24団体参加）
- 企業・市民活動団体・行政などが活動を紹介しあい、協働を目指して情報交換
- マッチング実現  
(ひきこもりサポート団体×プログラミング教室)



### まちづくりコラボアワード

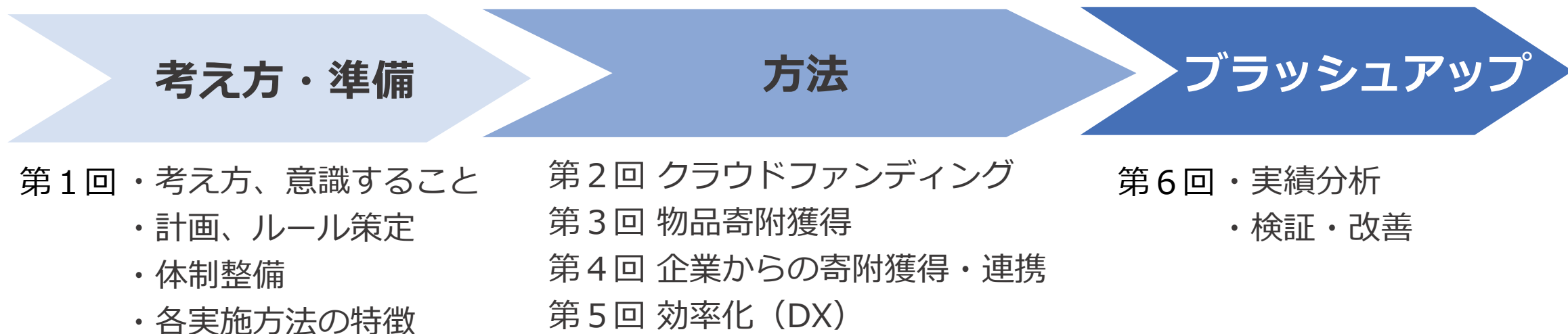
- 今年度（2月）初開催
- 市民投票を行い、協働事例を表彰
- 地域課題解決の機運醸成  
協働によるまちづくりの意識醸成



## 資金・寄附獲得、効率化のための研修強化

### 【例】体系的・段階的に研修実施

これまでは単発的なテーマで研修を実施していたが、  
今後は資金・寄附獲得の考え方から具体的な実施方法等まで、一連の流れで体系的・段階的に研修実施



※ 研修に出席できなくても、必要な時に資料等を見られるようにする

【例】申し込みにより資料提供等

# 認定NPO法人の認定取得支援

## 現在の取組

- 認定NPO法人専門員による相談対応
- 研修、NPO情報誌における案内など



- **NPO法人数に占める認定NPO法人の割合は全国1位**（令和6年12月時点4.1%）
- **今後もニーズを取り入れながら支援を実施**

岩手県からのお知らせ

認定NPO法人取得・更新情報

認定特定非営利活動法人として認定された法人をご紹介します！

**特定非営利活動法人 Plus One Happiness**

当法人の活動地域は人口が少ない地域です。人口が少ないということは、患者数が少ないということであり、その患者を対象とした事業が成立しにくいことを意味します。よって、同じ疾患を持って生まれてきた子どもたちは、その生まれた場所により受けられる支援・療育にどうしても差が出てしまいます。私たちはその『地域差』を少しでも埋めるために活動を開始しました。

現在は、気仙地区のダウン症児の親の会である『SUNNY』の活動支援や、沿岸で初となる障がい児のための『釜石のおもちゃ図書館 プラスワン』の運営を行っています。

写真は『釜石のおもちゃ図書館 プラスワン』の様子です。

＝基本情報＝  
理事長 横沢 友樹  
岩手県大船渡市立根町中野18番地55  
特定非営利活動法人 Plus One Happiness サイト→

2021年10月 ――― 活動開始  
2022年 2月 3日 ――― 法人設立  
2023年 7月10日 ――― 特例認定取得

目指そう！認定NPO法人

認定NPO法人とは

認定NPO法人は、NPO法人のうち、パブリック・サポート・テストを含む一定の基準を満たしているとして所轄庁（都道府県・指定都市）に認定された法人を指し、税制上の優遇措置を受けることができます。

特例認定NPO法人は、設立後5年以内の法人を対象とした、認定を受けるためのスタートアップ支援としての制度です。基準の一つであるパブリック・サポート・テストが免除されており、取得しやすくなっています。こちらも税制上の優遇措置（一部除く）を受けることができます。

※パブリック・サポート・テスト等認定の基準の詳細については、QRコードからご確認ください。 内閣府NPOホームページ 認定制度→

認定のメリット

認定NPO法人への寄附者に対しては、税制上の優遇措置があるため、寄附が集めやすくなります。また、認定NPO法人は「公益性」や「情報公開」に関する基準を満たしている法人のため、通常の法人と比較し、社会的信頼が増すことが期待できます。

認定NPO法人制度に関する相談窓口

岩手県若者女性協働推進室 認定NPO法人専門員  
（平日 9:00 ～ 17:15）

☎019-629-5199

## 寄附文化の醸成と受け皿整備

### 寄付月間への参画

- 毎年12月の1ヶ月間、全国規模で行われる啓発キャンペーン
- 目的  
一人ひとりがこの機会に**寄付について考えたり、実際に寄付してみたり、**  
寄付月間について**ソーシャルメディアで広げたりすることや、**  
寄付を受ける側が寄付者に感謝して、  
きちんと**寄付の使い道を報告すること**が進むきっかけにする
- 民間非営利組織、企業、大学、行政、国際機関などが推進委員会を形成
- 都道府県としては、千葉県、愛知県、高知県などが賛同パートナーとして参画し、  
協働まちづくりセミナーの開催等を通じて**寄附への関心向上、行動するきっかけづくりに取り組んでいる**

欲しい未来へ、  
寄付を贈ろう。



Giving  
December  
寄付月間 2024

一年の終わりに、考えたいのは未来のこと。  
もっと楽しい未来。もっと優しい未来。もっと平和な未来。  
もっと多様性が認められる未来。  
そんな未来を手にするために、あなたの気持ちを寄付にしよう。  
寄付は意思、寄付は投資、寄付は応援、寄付は願い。  
寄付で未来は変えられるのです。  
だから、「Giving December」。  
一年の終わりに、未来を考え寄付をする。  
そんな習慣を、はじめたいと思います。  
欲しい未来を叶えてくれるさまざまな取り組みに、  
あなたの想いを託しましょう。  
さあ、年の終わりに、新しい「寄付」がはじまります。



## 寄附文化の醸成と受け皿整備

### 団体を指定可能なふるさと納税（釜石市）

- 寄附者はN P O等の団体を指定し、ふるさと納税の仕組みを使って寄附
  - 寄附金のうち、手数料等（寄附額の5%）を除いた金額（寄附額の95%）を翌年度に団体に交付
  - 令和2年度開始、現在8団体登録
  - 令和5年度寄附実績6万3千円
- ※ 都道府県としては山形県、鳥取県、佐賀県などで実施

県	登録団体数	寄附実績
山形県	17	約2,700万円（令和4年）
鳥取県	45	約950万円(令和5年度)
佐賀県	117	約7億2,000万円(令和4年度)

山形県はふるさと納税の仕組みを使わない寄附。各県ウェブサイト（R7.1.8時点）より。

### ふるさと納税でSDGs推進や地域社会の課題解決に取り組む団体を応援しませんか

公開日 2020年12月24日  
更新日 2024年05月16日

#### 釜石ふるさと寄附金（地域社会の課題解決に取り組む団体指定寄附）とは

NPO法人、市民活動団体、自治会、婦人会、PTAといった組織・団体で、SDGsの推進や、地域社会の課題解決に取り組む団体をふるさと納税の仕組みを使って応援します。

東日本大震災により、釜石市は甚大な被害を受け、コミュニティや市民活動も大きく影響を受けました。現在の釜石市を支える要素のひとつがNPO等であり、魅力あるまちづくりを進めていくためには、行政、企業、NPO、市民団体等、多様な主体がそれぞれの役割に応じて活動し、市民一人ひとりが希望を持った全市民参加型の協働によるまちづくりが、今後の復興・地方創生の推進が必要です。当年度に団体を指定された寄附金は、翌年度に補助金として交付されます。

#### 団体紹介

1. [特定非営利活動法人 NPOおはこざき市民会議](#)
2. [海と子どもの未来プロジェクト実行委員会](#)
3. [一般社団法人 United Green](#)
4. [すなどり舎](#)
5. [一般社団法人 三陸駒倉](#)
6. [釜石原木椎茸再生プロジェクト](#)
7. [NPO法人 Plus One Happiness](#)
8. [特定非営利活動法人アットマークリアスNPOサポートセンター](#)